

1 各例ごとの財務シミュレーションの設定条件

(1) 基本項目・収入項目

区分	算出方法
入学定員数	国立社会保障・人口問題研究所による人口推計および学校基本調査等により，入学定員を推計した。 1 学年定員は 50 名とし， 4 学年で 200 名を想定する。なお，学生定員の過不足や退学者数は見込まない。
入学料・授業料等	現在の公立はこだて未来大学の入学料，授業料および入学検定料を基に算出し，定員充足率は 100 ％とした。 なお，授業料等無償化は含んでいない。 (入学料：渡島檜山管内 226,000 円，左記以外 310,000 円 / 授業料： 535,800 円 / 入学検定料： 17,000 円)
地方交付税	令和 6 年度普通交付税の基準財政需要額への算入額で推計した。 (学生 1 人あたり経費 保健系学部 1,676,000 円／人)
起債	地方公共団体（広域連合含む）が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担（地方債）

(2) 基本項目・支出項目

区分	算出方法
看護学部整備費	看護学部を整備するにあたって，他都市の看護系大学（学部）等の建設工事費等を参考として，当該費用に物価上昇率等の推移等を考慮のうえ算出した。
大学運営経費	・開学準備経費：他都市の看護系大学（学部）等の経費を参考に算出した。 ・教員人件費：公立はこだて未来大学および学校教員統計調査における人件費を参考に算出した。 なお，教員数は 30 名とし，必要に応じて非常勤講師を加味した。 ・教育関係費：教育および研究に関する費用として，他都市の公立看護系大学（学部）を参考に算出した。 ・一般管理費：管理経費（光熱水費等含む）として，他都市の公立看護系大学（学部）の一般管理費を参考に算出した。なお，光熱水費については，市高等看護学院も参考とした。
事務員人件費	函館市および公立はこだて未来大学における事務員人件費を参考に算出した。
公債費	大学（学部）の設置に要するパターン別における起債発行見込額から，現行の金利を考慮し算出した。
広域連合への負担金 （学部増設時のみ）	2 市 1 町の現行の負担割合に応じて算出した。

2 市立大学の新規設置における財務シミュレーション

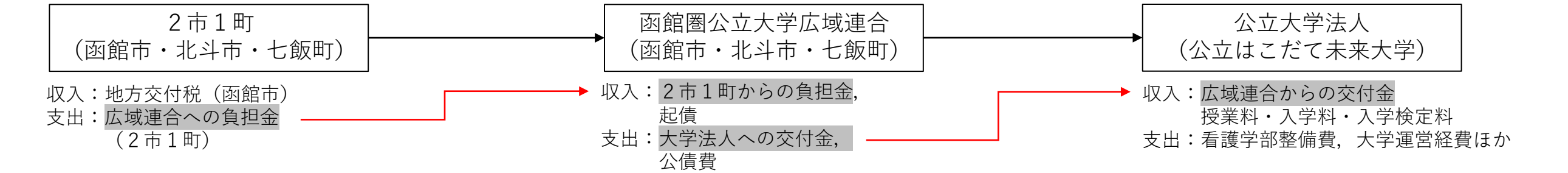
単位：百万円

例1 市立函館病院高等看護学院および同病院の一部を利用(約6,000㎡)

	項目	開学前 (R7～R10年度)	開学1年目 (R11年度)	開学2年目 (R12年度)	開学3年目 (R13年度)	開学4年目 (R14年度)
収入	授業料		27	53	80	107
	入学料・入学検定料	2	16	16	16	16
	地方交付税		83	167	251	335
	市債(改修工事費等分)	188				
	収入計(A)	190	126	236	347	458
支出	看護学部整備費 (初度調弁費含む)	333				
	大学運営経費 (うち教員人件費)	347 (99)	361 (229)	402 (260)	443 (291)	471 (312)
	事務員人件費	139	73	81	89	97
	公債費	3	2	3	11	11
	支出計(B)	822	436	486	543	579
	収入－支出 (A)－(B)	▲632	▲310	▲250	▲196	▲121

3 公立はこだて未来大学における学部増設(函館市の財務シミュレーション)

< 関係団体経費の流れおよび役割 >



単位：百万円

例2 市立函館病院高等看護学院および同病院の一部を利用 (約6,000㎡)						
	項目	開学前 (R7～R10年度)	開学1年目 (R11年度)	開学2年目 (R12年度)	開学3年目 (R13年度)	開学4年目 (R14年度)
収入	地方交付税	0	83	167	251	335
	収入計(A)	0	83	167	251	335
支出	広域連合への負担金	577	360	383	405	405
	うち看護学部整備費分(元利償還含)	(148)	(2)	(3)	(11)	(11)
	うち大学運営経費	(345)	(316)	(331)	(345)	(345)
	うち事務員人件費	(84)	(42)	(49)	(49)	(49)
	支出計(B)	577	360	383	405	405
	収入-支出 (A)-(B)	▲577	▲277	▲216	▲154	▲70

例3 市立函館病院高等看護学院校舎を利用し、かつ建物を建設 (約7,200㎡)					
	開学前 (R7～R10年度)	開学1年目 (R11年度)	開学2年目 (R12年度)	開学3年目 (R13年度)	開学4年目 (R14年度)
収入	0	83	167	251	335
	0	83	167	251	335
支出	1,027	387	412	488	487
	(583)	(14)	(17)	(79)	(78)
	(360)	(331)	(346)	(360)	(360)
	(84)	(42)	(49)	(49)	(49)
	1,027	387	412	488	487
	▲1,027	▲304	▲245	▲237	▲152

例4 市立函館病院高等看護学院およびその他建物を利用 (約8,200㎡)						
	項目	開学前 (R7～R10年度)	開学1年目 (R11年度)	開学2年目 (R12年度)	開学3年目 (R13年度)	開学4年目 (R14年度)
収入	地方交付税	0	83	167	251	335
	収入計(A)	0	83	167	251	335
支出	広域連合への負担金	785	386	409	456	456
	うち看護学部整備費分(元利償還含)	(335)	(6)	(7)	(40)	(40)
	うち大学運営経費	(366)	(338)	(353)	(367)	(367)
	うち事務員人件費	(84)	(42)	(49)	(49)	(49)
	支出計(B)	785	386	409	456	456
	収入-支出 (A)-(B)	▲785	▲303	▲242	▲205	▲121

広域連合への負担金について(大学運営経費内訳。P1と記載内容同じ。)

- 大学運営経費:**
- ・開学準備経費: 他都市の看護系大学(学部)等の経費を参考に算出した。
 - ・教員人件費: 公立はこだて未来大学および学校教員統計調査における人件費を参考に算出した。なお、教員数は30名とし、必要に応じて非常勤講師を加味した。
 - ・教育関係費: 教育および研究に関する費用として、他都市の公立看護系大学(学部)を参考に算出した。
 - ・一般管理費: 管理経費(光熱水費等含む)として、他都市の公立看護系大学(学部)の一般管理費を参考に算出した。なお、光熱水費については、市高等看護学院も参考とした。

備考
建設工事費の起債は、函館圏公立大学広域連合で行い、起債以外の建設工事費用の負担は、すべて函館市が担う。